



# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立杉戸農業高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・(IV)・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	食品流通科 (2年生 40名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合実習、食品流通、食品製造) ② 行事名 ( ) ③ その他 ( ) (2) 地域における活動 ① イベント名 ( ) ② その他 ( )
4 目標 (ねらい)	GAP 食材と県産小麦を活用した食品加工を学び、コロンビアのホストタウンとなる近隣の加須市と連携して行われる、コロンビア代表団との交流会にて、選手団へ振舞う商品を開発する。また、東京五輪パラリンピックのポスターやデザインについて学習することで、商品パッケージやポスター作成に活かす。
5 取組内容	(1) 実施日 ①令和2年9月25日(金)、10月19日(月)、26日(月) 内容「川島有美子氏によるデザインについての講演」 ②令和2年10月2日(金)、5日(月)、12日(月)、16日(金) 内容「日本とコロンビア共和国の食文化を融合した商品開発」 (2) 場 所 食品流通実習室、食品製造室 (3) 講 師 デザイナー 川島 有美子氏 (4) 演 題 「オリンピックから学ぶデザインについて」 (5) 取組内容 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> デザイナー川島氏による講演 完成した「杉農梨くるみパン」 ①各班「コロンビア共和国」の食文化、名物をインターネットで調べる。本科で学習している小麦加工(パン)の商品開発を行う。

	<p>②各班で決定した食材を使用して、実際に加工実習を行う。</p> <p>③過去、実際に作られたオリンピックのポスターにも触れながら、川島氏よりデザインについて講義を受け、各班で考案したパンのポスター作成を行う。</p> <p>④川島氏より制作したポスターの指導好評をいただく。</p> <p>⑤文化祭週間中に制作したポスターを本科棟に展示する。</p> <p>⑥「見た目が良い」「伝わりやすい」「配色が良い」の3観点で評価を行う。</p> <p>⑦優れている3作品を選び、拡大印刷し掲示する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>作成したポスター①</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作成したポスター②</p> </div> </div>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にポスター作成をしてみることで、デザインの組み立てについての楽しさ、難しさを実感することができた。</li> <li>・普段からデザインの学習をしている内容をより深く学ぶ機会を得られ、以降の授業で活用することができた。</li> <li>・生徒は「コロンビア共和国」といった大きなテーマを与えられ戸惑いの表情を浮かべたが、責任感を持ってポスター作成、商品開発を行うことができた。</li> <li>・生徒自らが考案し、実際に販売できる商品を開発することができた。</li> <li>・顧客に対して商品をより効果的に宣伝し、購入いただくための手段を学ぶことができた。</li> <li>・授業後のアンケート調査では、「プロの方からデザインについて講義を受けながらデザインの大切さや、ポスターを見る人に寄り添って作ることが大切であると理解しました。とても充実した時間になりました。」「プロに教わることで、今までにはなかった感覚を手にする事が出来ました。」「オリンピックで採用されてきたポスターにも歴史があり、当時の様子が目に浮かびました。」など様々な意見、感想があった。</li> <li>・学科の特長（パン開発、食品流通）を最大限活用した講義と地域連携に向けた取組が行えた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杉戸町出身の方を講師にお招きすることで、継続的な連携を行うことができた。</li> <li>・各班2回の商品開発を行い、1回目の実習をブラッシュアップし、2回目はより良い商品を開発することができた。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コロンビア共和国」のテーマに設定することで、異国の文化について深く調べることができた。</li> <li>・本校が持つ営業許可（パン）を活用した商品開発を行うことにより、販売会や文化祭でも販売可能となり、取組をより広く知ってもらえる機会となる。</li> </ul>
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインを学ぶにあたり、限られた時間で学習するには限度があるためポスター制作に苦労する生徒がいた。</li> <li>・「コロンビア共和国」に馴染みがないため、作品制作にあたり苦労する生徒がいた。</li> <li>・本科のみの事業となったが、他学科の生徒も今回、制作した作品に興味を持てるよう、学校全体の取組になるように周知する必要があったと思う。</li> <li>・作品を添削するにあたり、講義以外でも多くの時間を講師から指導していただけた。その結果、素晴らしい作品を制作することができた。</li> </ul>
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発商品はポスターを活用し販売会、文化祭で販売する予定である。</li> <li>・文化祭や販売会で学習した「デザインの組み立て」の知識を活用し、ポスター作成を行っていく。</li> <li>・オリンピック・パラリンピック教育以外にも、継続的な連携を行う。</li> </ul>